

第四小学校 コミュニティ・スクールだより

令和6年1月26日

第四小学校運営協議会

No. 3

地域学校協働活動（CSの活動）について

↓「1/12 井上先生のご指導 書き初め大会」



今年辰年。辰年は万物が成長して、動きが盛んになる象徴とされ、「物事のはじまり」や「大きな成長」の年といわれています。新しい年も、Well-Beingを目指し、子どもたちが夢をもち、未来を切り拓いていけるよう、自ら考え、判断し、行動する力を家庭・地域と一緒にほぐっていきたいと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

なおこの度、能登半島地震で亡くなられた方々のご冥福と被災された皆様にお見舞い申し上げます。一日も早い復興を願い、これからも心を寄せて参りたいと思います。

1月に早速、実践された活動や2学期に行われた第2回学校運営協議会の様子をご紹介します。

約1時間40分の会議は、協議と熟議を中心に行いました。今回の熟議においては、児童も参加し、自己指導能力を伸ばすためにできることについて話し合いました。



活動に子どもたちが熱心に取り組んでいる様子



「朝学習」



「情報モラル学習」



「読み聞かせ」



「アクセサリ作り」

学校運営協議会の様子

初めに、子どもたちの様子を分かってもらうために、授業参観をしてもらい、その後、会議を開催しました。



「授業参観」



「会長挨拶」



「協議の様子」

熟議を基に、できることから進めていきたいと考えています。ご支援・協力をお願いします。

今回の熟議について報告いたします。テーマについての説明後、グループになり、自己指導能力を高めるためにできることを付箋に書き、話し合いました。各グループの考えを発表し、全体で共有してまとめました。

自己指導能力については校長が次のように説明しました。「そのとき、その場で、どのような行動が適切であるか、自分で判断し、決定して実行する能力」のことで、詳しく述べると、「児童自らがそのときの状況を判断し、適切な行動を積極的に表出したり、状況に合わせて行動を抑制したりする力」です。四小では、「自分の頭で考えて、自分で決めて、自分でやってみること」と捉えています。

熟議 「四小児童の自己指導能力を伸ばすために、学校や地域・家庭でできること」について 考えよう

(※各班で出された考えをまとめたもの)

①人とのかかわり(友達)

- ・いろいろな人の考えを聞く
- ・子どもが集まれる場所づくり(土・日 放課後)
- ・他の人の短所や長所(よいところ)や能力を見つける
- ・みんなが喜ぶことを見つける
- ・低学年や友達のことを考える

②学習・家庭学習

- ・計画を立てて自主学習 ・自分で考えて学習する ・言われる前に行動(自主勉強・工夫したやり方の漢字練習・連絡帳) ・家庭学習を自分でマネジメント
- ・時間を有効に使う ・生活リズムをよくするために考えて行動

③学校でできること

- ・自己指導能力の必要性を学級懇談会等で保護者が話し合う
- ・行事や生活の中で意識して実践
- ・自分で考えて問題を解決する時間を設ける
- ・自分のやりたいことや好きなこと、楽しいことを見つける
- ・自分で考え、やってみて、終わったら見直す

④体験・活動

- ・体験や活動を重視 ・様々な体験 ・JRC精神を生かした活動
- ・児童会活動の中で一人一役で達成感
- ・児童の主体性を大切にした活動(運動会、いじめ防止集会、卒業文集)
- ・イベントや行事の工夫
- ・自分のよさ、友達のよさ、地域の方のよさを考えさせる

⑤地域

- ・様々な体験活動(職業体験、農業体験)
- ・地域の行事に積極的に参加して、役割や責任を自覚して、挑戦や体験を
- ・地域で子どもを見守る活動 ・地域の大人や高齢者と交流する場づくり(大人との時間を共有)
- ・見守る、認める、励ます(賞賛)などの関わり方 ・児童の意見を取り入れた活動

